

## 令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	20	学校名	奈良北高等学校
----	----	-----	---------

### 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	おうちDEサイエンス2022
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	数理情報科1年生「理数探究基礎」及び2年生の「課題研究」課題研究や探究活動で得た成果を、地域や地元の小学生への発信・還元を意識した取組に生かすことにより、社会に対する視野を広げ、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力や人間性の涵養につなげる。
連携・協働相手	生駒市教育委員会・生駒市立小学校・近隣自治会
地域と共有している目標・課題等	「地域に愛される学校」「地域から期待される学校」を目指し、他の地域との交流活動と合わせて、本校の特色や取組を地域の方々により知っていただくことにより、地域連携を推進する。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	数理情報科1・2年生の夏の課題として、小学生が家庭でできる実験や観察をわかりやすく紹介するための実験テキストを作成し、優秀作品を生駒市立小学生向けに特設ホームページを活用して発信。年度末には生駒市立小学校及び中学校に実験テキストとデータの入ったCDを配布した。地域に対しては、秋に他の地域との交流活動と同時に「おうちDEサイエンス」の内容を実演する「地域DEサイエンス」を学校で開催し、地域の小学生や保護者、地域住民と交流を深めた。

### 2. 事業の成果と課題

生徒は「おうちDEサイエンス」実験テキスト案を考える過程で、生活の中に身近な科学を再発見し、学校での学びとつなげる貴重な機会になる。また「地域DEサイエンス」は小学生に対しての言葉選びや話し方、安全管理等について意識する機会になる。実際に小学生と対面しての活動の方が、より生徒の学びや児童の学びにつながるので、取組の中で交流の機会をどのように設定するか考察と改善を進める。

また、「おうちDEサイエンス」は数理情報科の取組であるため理科教員が主体となり進めているが、校内の連携・体制づくりも課題である。

